



# 1月の星空



しょさんべつ天文台



ここ数年は温かい冬でしたが、今年はずっと平年並みの寒さが戻ってきているようです。太陽の活動も今年から来年にかけて最も衰える時期です。

夜空の星座も秋から冬へと入れ替わりました。冬の星座はオリオン座、おうし座、おおいて座、ふたご座など目立つ星座が多く、7個の1等星が目立っています。冬の星はキラキラとよくまたたきますのでとてもきれいに見えます。冬の天の川はカシオペア座からぎょしゃ座を通過して、おおいて座へとつながっています。この周辺にはオリオン大星雲やプレアデス星団など有名な星雲や星団が多く、望遠鏡はもちろん双眼鏡でも楽しめますので眺めてみましょう。

4日の未明に**しぶんぎ座流星群**が見られますが、今年が新月前なので好条件です。

6日の午前中、全国で**部分日食**が見られ、管内では太陽の56%が欠けて見えます。

惑星は、**火星**、**天王星**、**海王星**が夕方の空にあります。いずれも遠く小さいため観望には向きません。**木星**と**金星**は明け方の空にあり、22日ころ接近して見えます。**水星**と**土星**は太陽に近く見えません。

## 1月の・月と主な惑星の出没

日	太陽		月		金星		火星		木星		土星	
	出	没	出	没	出	没	出	没	出	没	出	没
01	07:08	16:04	02:03	12:58	03:17	13:22	10:48	22:55	05:00	14:06	07:12	16:09
11	07:07	16:15	10:00	21:08	03:29	13:13	10:22	22:51	04:31	13:34	06:37	15:35
21	07:01	16:27	16:27	06:52	03:43	13:10	09:56	22:48	04:01	13:02	06:02	15:01
31	06:52	16:41	03:08	12:43	03:56	13:12	09:30	22:44	03:30	12:29	05:24	14:27

月の状況 ●新月 6日 ▲上弦 14日 ◎満月 21日 ▼下弦 28日

## ご利用案内

### 冬季休館のお知らせ

天文台は12月から2月まで冬季休館中です。休館中のご質問、お問い合わせは教育委員会（自然交流センター）までお願いします。

教育委員会の電話番号 (0164) 67-2136 日中のみ

電話 (0164) 67-2539

E-mail: tenmon@arens.or.jp

URL = <http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/>

日: 天文現象

上旬: ウィルタネンすい星が肉眼で見える

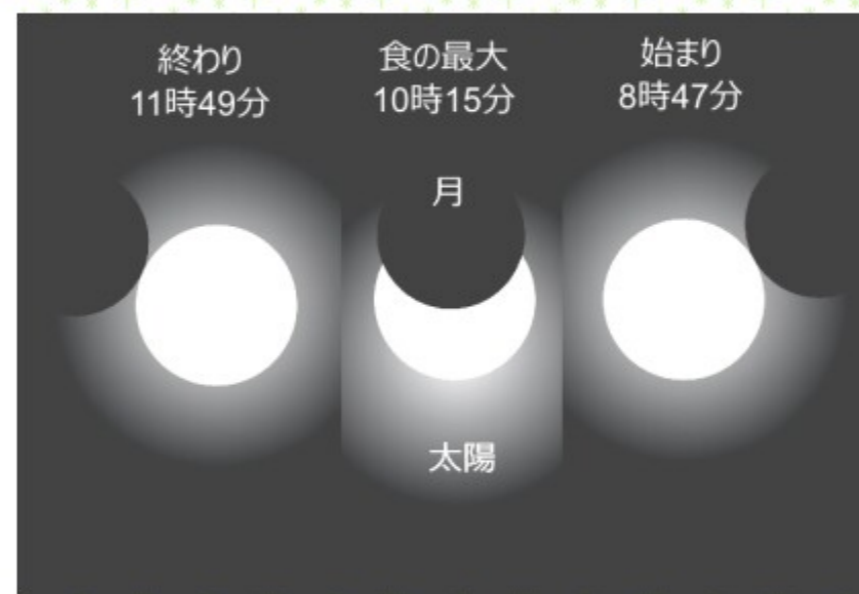
- 1: 元日 (初日の出)
- 2: 月と金星が接近 (明け方の東)
- 3: 地球が近日点通過 (太陽から1億4709万7233km)
- 4: **しぶんぎ座流星群** (明け方、空全体)
- 5: 小寒 (太陽黄経285°)
- 6: **部分日食** (8時47分~11時49分)

金星が最大離角 (明け方の東)

- 13: 月と火星が接近 (夕方)
- 18: 月がヒヤデス星団の中を通過 (明け方の西)
- 20: 大寒 (太陽黄経300°)
- 21: 皆既月食 (日本で見えない)
- 23: 金星と木星が接近 (明け方の東)
- 31: 月が木星に接近 (明け方の東)

### ●しぶんぎ座流星群

正月三が日明けの4日未明に見られる流星群です。しぶんぎ座という星座はありませんが、昔、北斗七星とりゅう座、うしかい座に挟まれた部分に壁面四分義座という星座があり、その名残で「しぶんぎ座」の名前が使われています。三大流星群の一つで、今年6日が新月なので期待できそうです。放射点は北東の空にありますので、そのあたりを中心に空全体に流れます。1時間に30個くらいは期待できるでしょう。



### ●部分日食

6日の午前中に全国で部分日食が見られます。

- 日食の始まり 8時47分
- 食の最大 10時15分 (最大食分 0.56)
- 日食の終わり 11時49分

日曜日の午前中で見やすい日食です。道内では太陽の55%前後欠けますが、南の地方ほど欠け方が小さくなります。

太陽は光や熱が強いので安全な方法で見ましょう。望遠鏡で見るときは図のように、太陽投影版というのを使い、決して直接のぞかないようにしましょう。直接見るときは、望遠鏡を使わず太陽専用のメガネ (日食メガネ) を使います。太陽からは強い赤外線が出ていますから、日食メガネ以外のもの (サングラス、色つきガラスやビニール、下敷きなど) は決して使わないでください。



何も無いときは黒い紙を1枚用意して、そこに5mmくらいの穴をあけ太陽にかざします。穴から漏れた光を壁や床に映すと丸い太陽が映りますが、日食のときは欠けた太陽の姿が見えます。穴の数を増やしたり、文字や絵のようにすると一度にたくさんの日食が見えておもしろいでしょう。

### ●木星と金星が接近

明け方の東に見えている金星と木星が、22日ころ並んで見えます。20日から25日ころまで近くで並んで見えます。どちらも明るい星なので空が少し明るくなくても見られるでしょう。金星6日に最大離角になったばかりで、望遠鏡で見ると半月型に見えます。木星は縞模様が見えます。双眼鏡なら両方一緒に見ることができそうです。

